



まちのできごと

3/13 こぐまクラブ修了式 交通ルールを守ろう

若草保育所で年長組の園児が1年を通じて交通ルールを学ぶ、交通安全教室「こぐまクラブ」の修了式が行われました。式で名前を呼ばれた園児たちは、元気よく返事し、修了証を受け取ると「ありがとう」と笑顔で答えていました。交通指導員の三浦健一さんからは、4月から小学校の登下校が始まる園児たちに向け「事故を起こさないように交通ルールをしっかりと守ってください」と話がありました。



↑ 修了証を受け取る園児

↓ 会場を盛り上げる北海道大学”縁”



3/2 舞灯雄武ビアパーティー 平成最後の開催に豪華出演

地元よさこいチーム舞灯雄武が結成当初から毎年開催するビアパーティーが今年も開催されました。今年は、北海道大学”縁”、遊～すさび～、恵庭紅鴉、夢想漣えさし、室蘭百花繚乱と舞灯雄武を含めた豪華6チームの演舞が披露されました。北海道大学”縁”の演舞では、ステージに来場者を招いてのパフォーマンスや、ステージを飛び出して会場全体を巻き込んだ演舞に会場は大盛り上がりとなりました。

↓ 涙を浮かべる卒業生



3/22 平成30年度沢木小学校 第71回卒業証書授与式 旅立ちの日に

沢木小学校では卒業証書授与式が行われ、6年生2人が旅立ちの日を迎えました。菅原校長の式辞では「夢に向かってチャレンジです。勇気をもって確かな未来へ、力強い一歩を大きく踏み出してください」と卒業生を激励。式の中で同小学校の伝統である、沢木太鼓の引き継ぎが行われ、伝統は下級生へと継承。全校合唱や別れの言葉を交わした式終盤では、児童だけでなく、先生や保護者の方々も涙ぐむ感動的な卒業式となりました。

3/5 認知症サポーター養成講座 認知症でも安心できる町

認知症サポーター養成講座が地域交流センターで開催されました。講師には北海道認知症介護指導者の羽田三紀子さんを招き、認知症と認知症サポーターについて講話をしました。羽田さんは「認知症の人に何かしてあげなくても、“応援者ですよ”という意思表示をすることで、認知症の人が安心して暮らせる町になるのかなと思っています」と話し、参加者に認知症への理解を求めました。



↑ 認知症について話す講師の羽田三紀子さん

↓ 華麗なショットを決める児童



3/10 平成30年度町民卓球大会 白熱した試合

雄武町卓球協会主催の町民卓球大会がスポーツセンターで開催されました。大会では、初心者から経験者まで多くの人が参加し、小学生の部で優勝した石井尚樹さんは「はじめての出場で優勝できてよかったです。浮いた球をスマッシュで決められたので優勝できました」と勝利の要因を話してくれました。各コートでは白熱した試合が繰り広げられ、出場者は気持ちのいい汗を流していました。

3/7 英語でトライ 目的地までつけるかな？

雄武小学校で英語の学習の一環として「英語でトライ」が同小学校体育館で行われました。6年生を対象に、道に迷った外国人を英語で目的地まで案内する授業を行いました。児童たちは慣れない英語に苦戦しながらも友だちと協力しながら道案内をしていました。児童からは「難しい英語は使えないけど、簡単な道案内ならできるようになったと思う」と習った英語をさっそく身に付けたようでした。



↑ ALTのジョー先生を目的地まで案内した児童たち

↓ サンドアートパフォーマンスで表現した「竹取物語」



3/10 町民大学第3回学習会 砂の絵は変わりゆく

町教育委員会主催によるサンドアートパフォーマンスが町民センターで行われました。講師にはサンドアートアーティストKisato（キサト）さんを招き、パフォーマンスを行いました。砂で描かれる絵は次々に場面を変えていき、物語を表現していく様子に、サンドアートの世界観に引き込まれるようでした。来場者は、「一瞬で消えてしまう絵がもったいなく思えるほど素晴らしく感じました」と話していました。